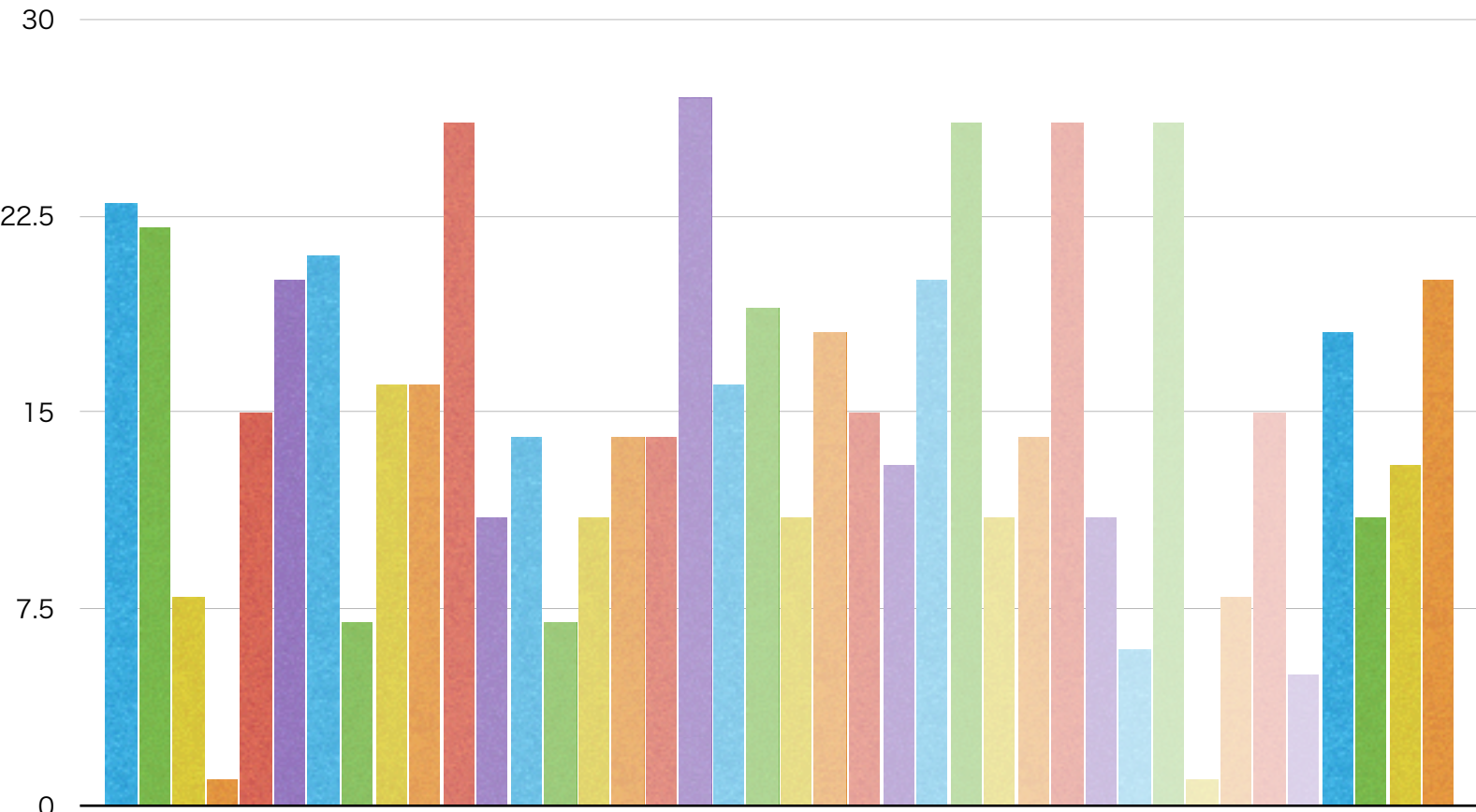


宇治・伏見フォトロゲイニング分析

・全チームのチェックポイント集計



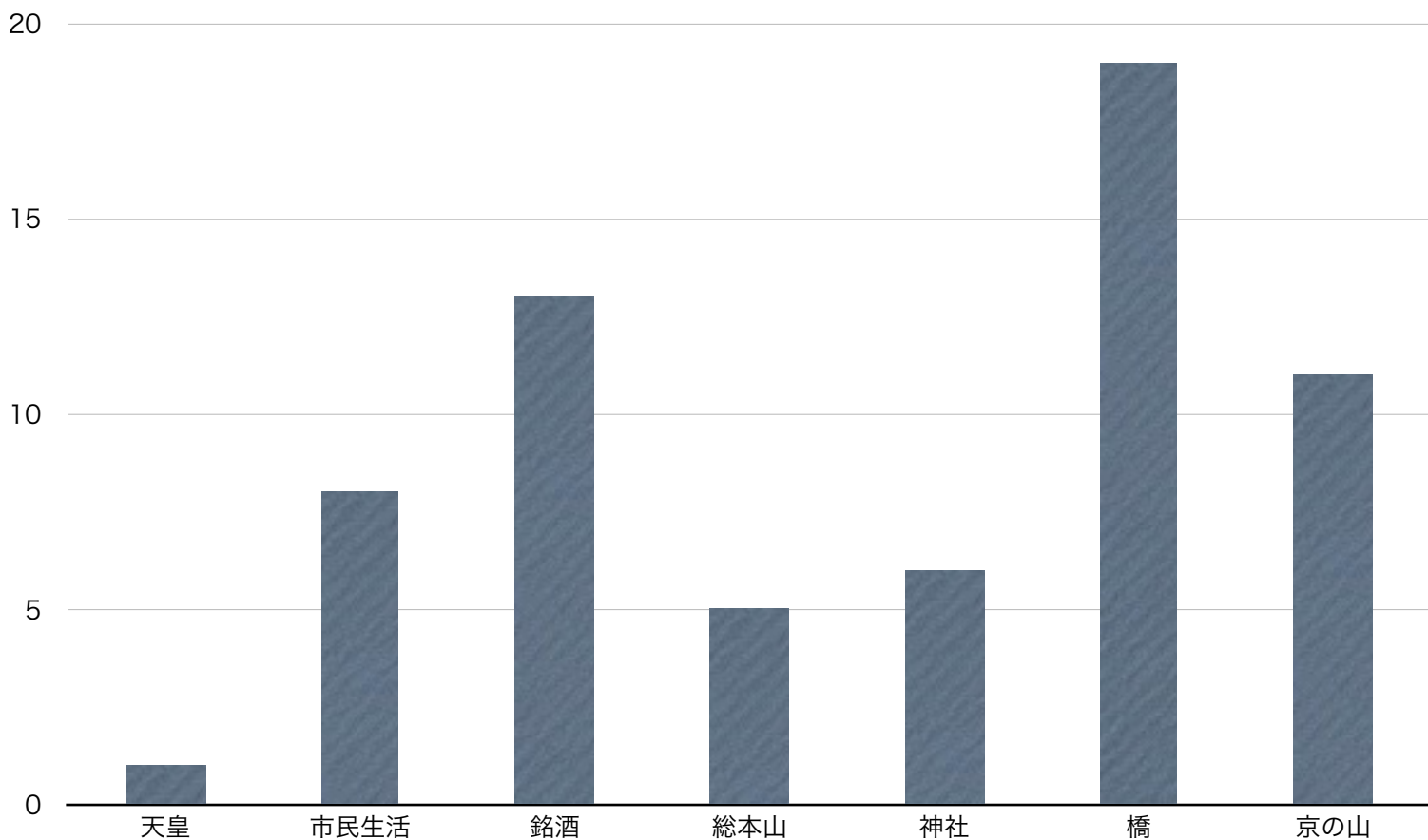
まず、全体的に人気だったのが宇治エリアです。訪問数が上位5つのチェックポイントのうち、1位の39番(宇治橋)、3位タイの47番(平等院参道)、52番(宇治上神社)、59番(石塔)は全て宇治エリアのものであり、2位の28番(観月橋)も宇治方面にあります。そのほかにも、41番(京都大学宇治キャンパス)、46番(黄檗宗総本山萬福寺)、84番(三室戸寺)などたくさんのチェックポイントが宇治方面で上位にランクインしております。宇治エリアのチェックポイントは、ボーナスに組み込まれているものは少ないものの、高得点のものが密集しているため、魅力的に思えるエリアだったのではないのでしょうか。

反対に圧倒的に訪問した方が数が少なかったのが、17番(青少年科学センター)や、63番(仁明天皇深草陵)でした。17番は駅から近いものの得点は低く、ボーナスにも組み込まれていないため、63番はポイントが高くボーナス

に組み込まれているものの、ここから次に向かえるチェックポイントが少ないため、それぞれ訪れる優先順位が高くなかったものと思われます。

会場の周辺エリアは手軽に行けるため、多くの人々が訪問することを想定していました。しかし実際には、8番(月桂冠大倉記念館)や、12番(寺田屋)は6位、7位と人気が高かったものの、このエリアの他のチェックポイントは訪問数があまり多くなく、宇治エリアに人気を取られた印象がありますね。

・各ボーナス点に行ったチーム数



70点の'伏見の銘酒を歩く'が手軽さから圧倒的に達成が多くなるものと想定しておりましたが、実際には100点の'歴史を刻む橋'が一番達成数が多くなりました。これは、訪問数トップ2つが39番(宇治橋)、28番(観月橋)であったことが大きく影響していて、得点が低く、訪れやすいわけでもない22番(歓進橋)の訪問数が多くなることにもなりました。ボーナスポイント自体は高いものの、各チェックポイントの得点は低く、達成難易度も80点の'由緒正しき総本山'や、90点の'その地を見守る神社'とあまり変わらないのに人気が高かったのは、やはり宇治エリアの人気が大きかったのだと思われます。

また、110点の'京の山を駆ける'の達成率が高かったことも印象的でした。難易度が高いものの、各チェックポイントの点数が高く、ボーナス得点も大きいので、高得点を狙っていく上で魅力的だったのでしょうか。実際に、5時間の部で高得点を取っているチームの多くが達成しておりました。対照的に、3時間の部では達成しているチームはおらず、3時間では難易度的に達成が難しかったのでしょうかね。

・ 5時間の部優勝チームのルート紹介

84→52→59→47→39→27→46→41→55→33→13→24→67→77→43
→21→28→8→49→40→37→80→38→44→22→45→48→66→34→42
→78→54→26→20→32→31

ボーナスポイント…市民生活、銘酒、総本山、神社、橋、京の山

総合得点…2060点

文責: プランナー 松永佳大